

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取いなば） 5月号

1. 鳥取砂丘らっきょう販売促進リモート会議

J A 鳥取いなばは5月6日、鳥取市の同J A本店で東京や京阪神などの主要市場とリモート接続し、地理的表示（G I）保護制度に登録され7年目を迎える特産「鳥取砂丘らっきょう」の販売促進会議を開いた。

生産組合長や全農とっとり、同J A職員ら12人が参加。5月23日の初販売日を前に、収穫したばかりのラッキョウの実物を見せながら生育状況などを説明した。会議では、市場関係者と、消費者ニーズの動向や産地の情報提供などについて意見を交わした。



2. アスパラガスの新資材で販促強化

J A 鳥取いなばは生産振興の重点品目の一つとして位置付けるアスパラガスの持続的な生産と販売基盤の強化に取り組む。新型コロナウイルス禍で消費が低迷する中、消費拡大の一環の取り組みで新たに販促資材を作成。市場とも連携を密にし、市場ニーズに対応する出荷体制を整える。販売戦略では、地元の学校給食の食材提供をはじめ、関西市場、J A直売所に出荷する。新販促資材は、アスパラガスの穂先をイメージした被り物で、濃い緑と淡い緑のコントラストが特徴。



3. 岩美南小学校の梨交配体験

J A鳥取いなば岩美支店は4月19日、岩美町立岩美南小学校3年生15人を対象に同校にある梨園で交配の体験会を開いた。

児童たちはJ A職員のサポートを受け、一面に咲き誇る真っ白な梨の花に、筆を使って丁寧に花粉を付けた。同校は3年生を対象に、県特産の梨「二十世紀」の栽培学習を毎年実施し、今年で6年目。生産者に栽培を教わりながら、地域農業への関心を高める。摘果や2回の袋がけ（小袋、大袋）を作業し、9月中旬の収穫を予定する。



4. 国府東小学校の山の芋栽培体験

J A鳥取いなば国府支店は4月22日、鳥取市の国府東小学校で、地元特産「山の芋」栽培体験を開いた。

同校「のびっこ児童クラブ」の児童31人が、生産者、J A職員のサポートを受けながら、快晴の中、楽しく種芋を植え付けた。

J Aの支店行動計画の一環で同栽培体験は今年で5年目。11月に収穫し、お好み焼きなどの調理実習を行う予定。



以上